

大阪国際空港「不法占拠」は なぜ補償されたのか — 住民・行政・研究者の立場から —

関西学院大学 21 世紀 COE プログラムをひきついで、2008 年 7 月に滋賀県知事を招き開催された創立記念シンポジウム。今回は、伊丹市中村地区の集団移転事業をとりあげ、この中村地区は、第二次世界大戦中に徴用で飛行場建設のために、この事業の社会的意味について、この地区の立地が大阪空港内の国有地に位置したため、戦後半世紀の長きにわたり国からいわゆる「不法占拠」地区とみなされてきた歴史をもつ。

関西学院大学先端社会研究所 2008 年度第 2 回シンポジウム

しかし、2001 年以降の町・市に地元自治会とのねばり強い話し合いの結果、近隣に建設される市営住宅への集団移転が実現した。このシンポジウムでは、講師のみなさんは、集団移転までの歴史的経緯や移転事業の進め方、さらには、この事業の社会的意義等について、地元住民、行政、研究者といったそれぞれの立場から発言いただき、市民・行政・大学との連携のなかから新しい公共的な知を紡ぎ出す機会を模索していきたい。

● パネラー

石原 熙勝 (伊丹市副市長)

丹山 判同 (元中村自治会長)

金菱 清 (東北学院大学)

● コメンテーター

日野 謙一 (伊丹人権啓発協会)

川上 八郎 (伊丹市議会議員)

高橋 裕 (神戸大学)

● 司会

三浦 耕吉郎 (関西学院大学)

● 日時：2008 年 10 月 9 日 (木)
13:30～17:00 (13 時開場)

● 場所：関西学院会館
レセプションホール

● 一般公開・参加無料

お問い合わせ先

関西学院大学先端社会研究所

TEL:0798-54-6085 FAX:0798-54-6089

E-mail:asr@kwansei.ac.jp

大阪国際空港「不法占拠」は なぜ補償されたのか — 住民・行政・研究者の立場から —

シンポジウムの概要

関西学院大学21世紀COEプログラムをひきついで、今春設立された関西学院大学先端社会研究所の主催する第2回シンポジウム。7月に滋賀県知事を招き開催された創立記念シンポジウムにつづいて、「市民と大学を架橋する」という研究所のメインテーマのもと、今回は、伊丹市中村地区の集団移転事業をとりあげて、この事業のもつ社会的意味について考えたい。

この中村地区は、第二次世界大戦中に徴用で飛行場建設に従事させられた朝鮮半島出身の人びとの飯場をもとに形成された集落。地区の立地が大阪空港内の国有地に位置したため、戦後半世紀の長きにわたり国からいわゆる「不法占拠」地区とみなされてきた歴史をもつ。しかし、2001年以降の国・県・市と地元自治会とのねばり強い話し合いの結果、このたび、近隣に建設される市営住宅への集団移転が実現した。

このシンポジウムでは、パネラーの方々に、集団移転までの歴史的経緯や移転事業の進め方、さらには、この事業の社会的意義等について、地元住民・行政・研究者といったそれぞれの立場からご発言いただくとともに、市民・行政・大学との連携のなかから新しい公共的な知を紡ぎだす道を模索していきたい。

プログラム

- 13:30～13:40 挨拶 荻野昌弘(先端社会研究所所長)
- 13:40～15:10 パネラーからの発題
休憩
- 15:20～15:50 コメンテーターからの問題提起
- 15:50～17:00 ディスカッション

写真展

『空港隣接の町 消滅と再生の物語』

先端研ウィークの期間(10月6日～10日)、関西学院会館の1階ロビーにおいて、中村地区の成り立ちや、祭りや日常風景にみる中村の表情、そして移転の前後の地区の移り変わり等々を記録した写真展を開催しますので、ぜひ、ご来場ください。国交省提供による戦後すぐの頃の中村地区の写真など、貴重な未公開写真も展示します。

先端社会研究所とは・・・

21世紀に生起する新たな社会問題の解明を通じて、社会学および社会福祉学世界的な研究拠点をめざす。

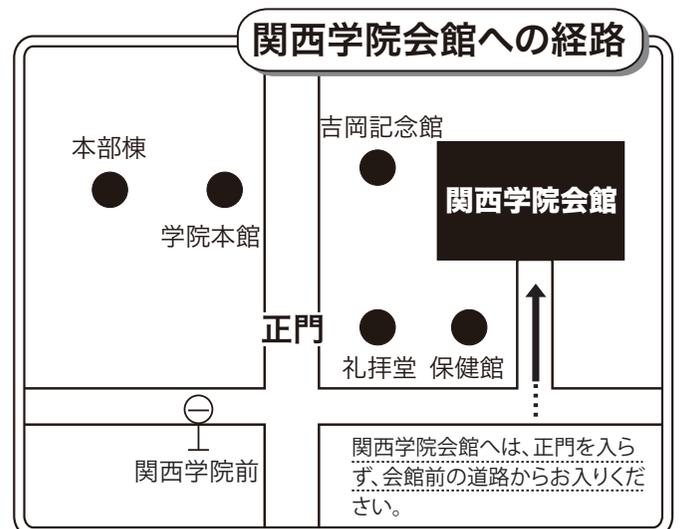
先端社会研究所は、グローバル化によって引き起こされるさまざまな社会問題を「他者問題」と捉え、調査研究しようとする社会学および社会福祉学の研究所です。その目的は、次の四点です。

- 1 他者をキーワードとした新たな知的枠組を構築し、世界に向けて発信する。
- 2 1の研究に基づき、質的調査と量的調査の統合的データベースを構築する。
- 3 独創的な研究を行う若手研究者を育成する。
- 4 研究成果を社会に還元する実践的な知をめざし、市民との対話を通じた調査研究を行う
(これをソーシャルサイエンスショップ、通称Sキューブと呼ぶ)。

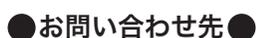
2008年度先端研ウィーク

人と人との交わりは、ある特定の「場」においておこなわれます。そこで、2008年度先端研ウィークは、人と人との交わり、つまりコミュニケーションがどのような空間的な場で繰り広げられるのかについて、さまざまな企画を通じて、学生、市民とともに考えていく場を提供します。

会場案内



シンポジウムの会場、レセプションホールは、関西学院会館2階となっております。尚、1階ロビーにおいて、写真展『空港隣接の町 消滅と再生の物語』も同時開催しておりますので、こちらへも是非お立ち寄りください。



●お問い合わせ先●

関西学院大学先端社会研究所

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

TEL:0798-54-6085 FAX:0798-54-6089 E-mail:asr@kwansei.ac.jp